



令和5年4月5日

自主防災ときとう

発行 時任町会自主防災部
防災部長 佐久間英昭
函館市時任町19-13
電話 51-8429
(時任町会館内)

昨年の大雨アンケートで分かったこと!

非常持ち出し準備を

◎している	27%
○していない	72%

住んでいる地域の避難所が

◎知っている	51.6%
○知らない	48.4%

避難指示対象の人の行動は

◎避難所に避難	5%
○知人・親戚避難	4%
◎自宅避難	12%
○準備のみ	14%
◎夜のため様子見	31%
○避難しない	34%

昨年8月の道南地方の大雪被害を受けて渡島支庁のアンケート結果がでました。六九一名の回答があり、避難指示が出ている地域の方は一一七名でした。避難所に避難、知人・親戚宅に避難、自宅避難を合わせて二二%になりました。

去年の大雨アンケート結果を合わせて二一七名いますが、実際に避難した方は、三四名の、一六%になっています。大雨に恐怖を感じている状況で避難指示が出ても、大半の方が避難行動をとらなかった実態が浮き彫りになっています。避難しなかつた理由は避難所を知っているが五一・六%で、半数近くの方は、どこに行けばよいのかわからない状況

※避難「指示」後、避難したのは2割、8割は避難せざり!

◎避難所に避難	5%	日本海溝・千島海溝巨大地震が起きた場合は、道南で亡くなる方が最大五四〇〇〇名とされています。
○知人・親戚避難	4%	防災訓練に参加4.4%
◎自宅避難	12%	非常食備蓄37.7%
○準備のみ	14%	日本海溝・千島海溝巨大地震が起きた場合は、道南で亡くなる方が最大五四〇〇〇名とされています。
◎夜のため様子見	31%	防災訓練に参加4.4%
○避難しない	34%	非常食備蓄37.7%

でした。非常持ち出し袋用意している。一七、一%で、七割近くの方は避難の時、着の身着のままになる」とわかりました。

この発令は、すでに災害が発生しており、命に危険が迫った時に出される発令です。本来この発令前に避難することです。避難する際に大事なのは、率先して避難を呼びかける。自分の身は自分で守る意識と行動が不可欠です。

